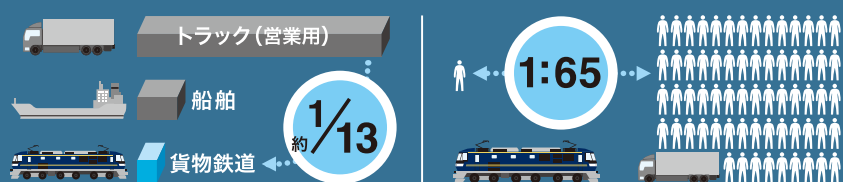


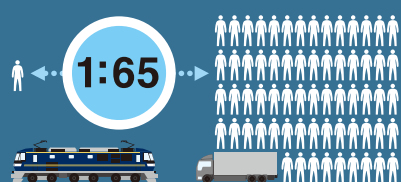


JR貨物は、
 どのような時も幹線物流を支え、
 社会に貢献し続けてまいります。

優れた環境特性・労働生産性



貨物鉄道のCO₂排出量は、
 営業用トラックの約13分の1。
 「2050年カーボンニュートラル」
 の実現に貢献。



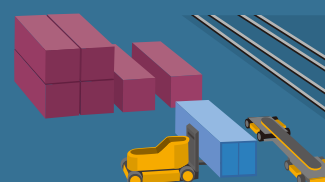
貨物列車1本分の輸送力は、
 10tトラック最大65台分。
 トラックドライバー不足の
 問題解決に貢献。



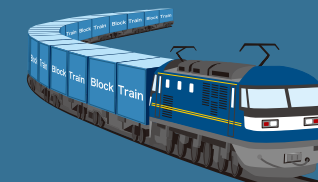
さらなる価値の創造



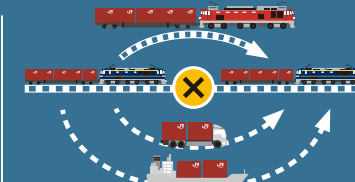
駅ナカの大規模物流施設
 「レールゲート」を全国展開。
 貨物駅の高度利用で、
 物流をシームレスに。



AIやIoTなど最新技術を
 積極的に導入。スマート
 貨物ターミナルを構築し、
 自動化・効率化を推進。



1列車を区画売りする
 ブロックトレインや
 定温貨物列車を新設し、
 多様化する需要に対応。



災害時も物流を守るため、
 迂回輸送やトラック・
 船舶による代替輸送の体制を
 さらに強化。



動画でもご紹介しています。
 ぜひご覧ください。



JR貨物 SDGs

検索

